

削減 議員定数 18人から16人へ可決

賛成9人 反対8人で

12月定例会

12月定例会は12月8日から20日まで13日間の会期で開催。
 18年度一般会計および特別会計（国民健康保険、老人保健、下水道）水道事業会計補正予算など議案19件、人事案件1件、意見書（案）2件について慎重審議を行い、原案通り可決しました。
 一般質問は14人が行いました。

議員削減の理由

1 行政改革に積極的協力
 町の財政状況は地方交付税、補助金など年々削減され歳入不足の続く厳しい状況下にある。歳出抑制のため収入役を廃止、定員管理による職員の削減についても仕事は増えても人は増やさない厳しい改革が進められている。

2 町民の声を耳を傾ける
 敬老金3,000万円が760万円へ減額、障害者福祉手当、母子福祉手当の全廃、医療費、介護保険料の増額、定率減税廃止にもなる増税、さらに都会と地方の経済格差は大きく地方では今も失業転職給与の落ちこみ、倒産はあとをたたく厳しい環境の中にさらされている。

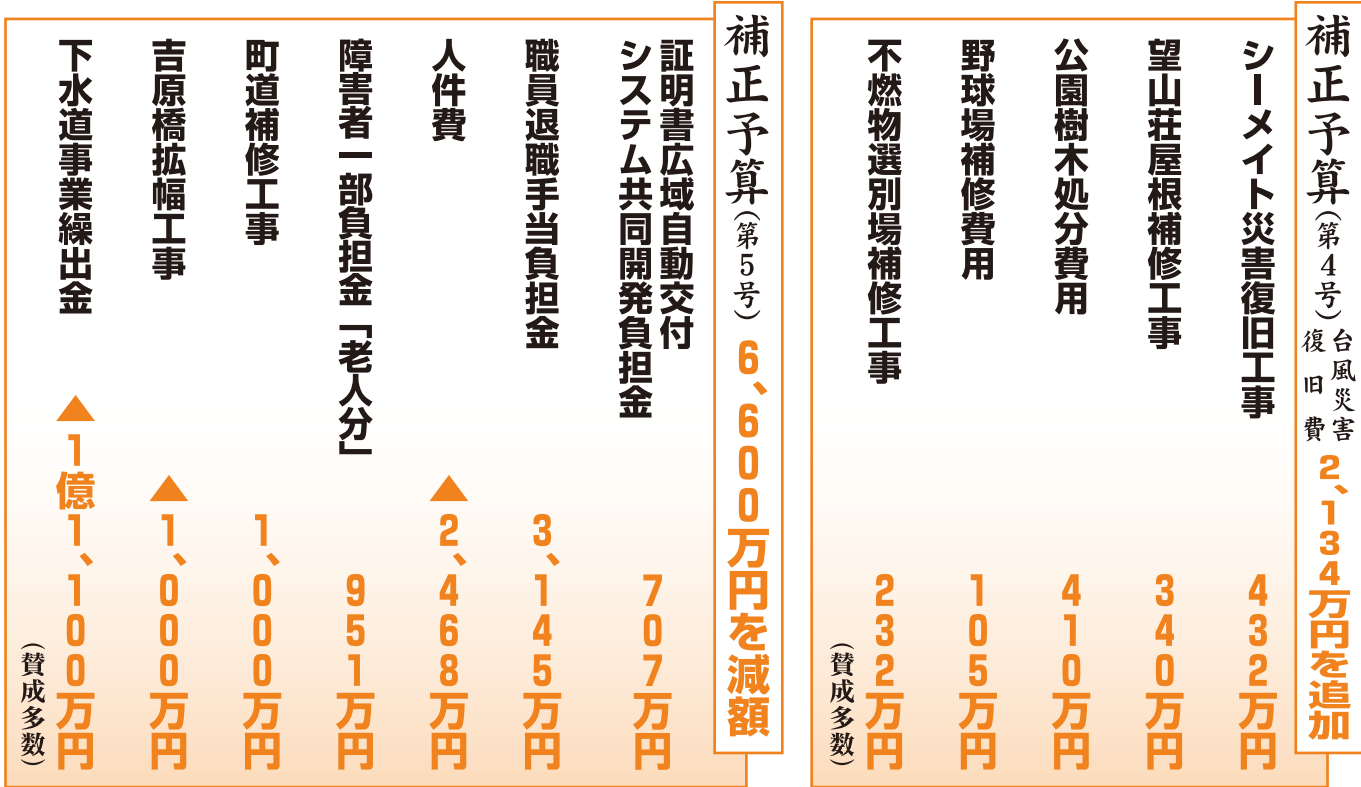
議員削減については町民からの申し入れもあつたが、議員自らが決める問題と考えお断りしてきた。今役場も町民も身を削って行政改革に協力し

賛成理由に對し7人の議員から質問がされた。

概要は次のとおり。

- ①なぜ12月議会に唐突に提案がなされたのか、2人削減の根拠は、合併は考慮されたのか。
- ②なぜ事前に議員間の話し合いがなされなかったのか。
- ③志免町は人口が増え、合併問題など町民にとって大きな問題があるのになぜ議員の削減をするのか、9月議会に提案して慎重に論議すべきでなかったのか。
- ④議員削減に民意の反映は考慮されたのか。
- ⑤チェック機能に支障はないのか。
- ⑥町の人口が増えているのになぜ削減か。

これに對し提案者より
 ①行政改革の進められる中、議員削減や合併問題は特別の問題でなく周辺の町でも



補正予算(第4号) 台風災害復旧費 2,134万円を追加



写真 志免町役場

反対討論

12月議会に唐突にだすべきではない、9月議会にて論議を尽くし結論を出すべきである、合併問題をかかえ、町民も税収も増えている現在、行政改革に協力するとい

実施されている当たり前の問題。
 ②議員削減による行政改革を推進し自立できる町をつくることの方が合併より優先する。
 ③志免町より人口の多い町で志免町より少ない議員で十分やっている。

賛成討論

本議案が唐突に出されたわけではない。12月議会前に全員協議会での審議を要請してきた。

他の自治体を見るとき合併しない町も合併した町も行政改革の一環として議員自らが削減へふみきるのは当たり前としてとらえられている。2人の議員の削減がごどもたちのために利用されることを願いたい。

条例制定

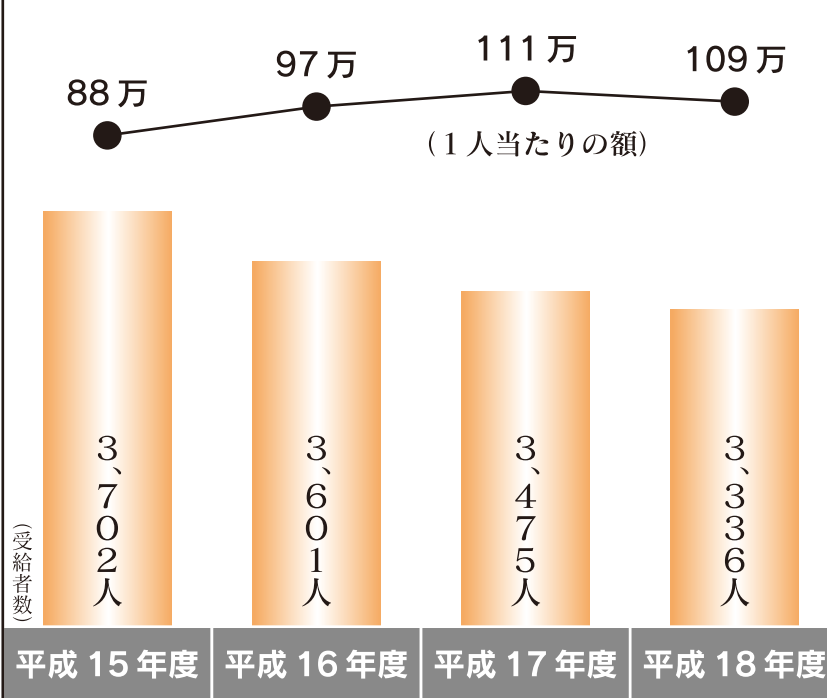
住民基本台帳カードの利用に関する条例
 住民基本台帳基本カードの多目的な目的を定め証明書自動交付機においての証明書（住民票の写し、印鑑登録証明書、戸籍証明）の交付を「志免、宇美、粕屋」3町で広域的に行う。
 賛成多数で可決

印鑑条例の一部を改正する
 証明書自動交付機において印鑑登録証明書の交付を行う条例
 賛成多数で可決

手数料徴収条例の一部を改正
 証明書自動交付機カード発行手数料の追加。
 平成20年3月31日までのカードの発行は無料とする。
 賛成多数で可決
 (手数料料金が異なります)

(21)自動交付機カードの交付	1件につき500円
(22)公簿、公文書等の閲覧	1件につき200円
(23)土地又は建物に関する証明	1件につき200円
(24)町税に関する証明	1件につき200円
(25)その他諸証明	1件につき200円

老人保健医療の推移



特別会計補正予算

国民健康保険 224万円を減額
 老人保健 2,642万1,000円を追加し
 総額 44億2,436万円
 下水道事業 77万6,000円を追加し
 総額 37億9,549万円
 水道事業 42万6,000円を追加し
 総額 14億3,577万円
 総額 9億3,774万円